

## IV 坂地区振興計画

### 1 坂地区の将来像

坂地区の現況と課題やまちづくりワークショップによる住民の意向を踏まえ、「地区の将来像」を次のように設定します。

#### 住む、来る、つながる、育む、遊ぶ

#### 豊かに暮らせる 坂のまち

坂地区は、日本遺産に認定された「箱根八里」沿いに位置する自然豊かな坂の集落で、箱根西麓三島野菜の生産地としても知られています。

この恵まれた自然環境と顔が見えるコミュニティの中で、地域ぐるみの子育てができる地区を目指します。

また、多様な観光資源とアウトドアを楽しむことができる地区として、おもてなしではなく、豊かな暮らしの“おすそ分け”ができる地区を目指します。



## 2 まちづくりの方針

地区の将来像を実現するために、5つの「まちづくりの方針」を設定します。

### 1 地区ぐるみで子どもを育む〈子育て〉

坂地区の自然環境を活かした魅力的な教育を進める坂小学校について、地区住民との連携を強化し、より魅力を高めるとともに、地区と坂小学校が一体となって子育てしていく環境をつくります。

また、坂小学校の魅力を地区外に対して積極的に発信していきます。

### 2 新しい働き方、住い方をはじめめる〈移住定住〉

坂地区の自然環境や良好なコミュニティを活かした魅力的な暮らしの様子を全国に向けて広く発信するとともに、地区内にある空き家を効率的に活用していく仕組みを構築し、移住定住の促進を図ります。

また、空き家や公共施設を活用したテレワーク拠点、アーティスト等の活動拠点等の整備を進め、多様な人々が多様な目的で暮らす地区づくりを進めます。

### 3 箱根西麓の恵みを楽しむ〈産業〉

箱根西麓三島野菜のブランド化による差別化を図ることで、農業ひいては地区全体の活性化を図ります。

また、農地の保全と再利用、森林資源の活用と山林の荒廃防止のために、新たな担い手の育成に取り組みます。

#### 4 地域の魅力や資源を活かす〈観光〉

箱根西麓三島野菜をはじめとする食や豊かな自然を活かしたウォーキング、サイクリング等による観光振興を図ります。

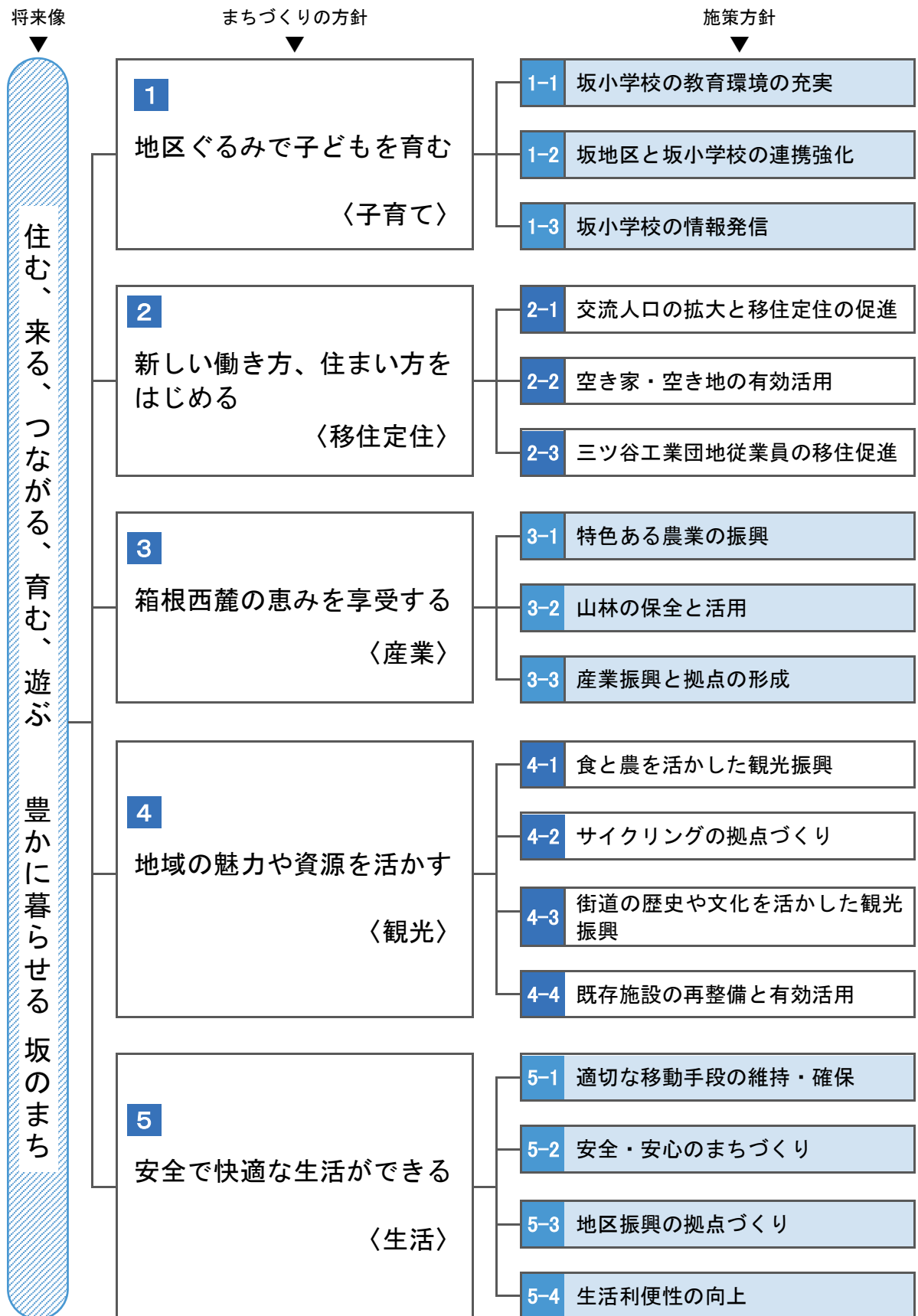
箱根の里や子供の森公園など、既存の施設を有効活用したアクティビティを開発するとともに、使用条件の緩和や申請の簡素化を検討します。

#### 5 安全で快適な生活ができる〈生活〉

自家用車以外の移動手段の確保や既存バス路線の適正な利用対策に取り組めます。

また、坂公民館や坂幼稚園を地区のまちづくり活動の拠点として活用し、地区住民が主体となった活動の積極的な促進に繋がります。

### 3 施策の体系



## 4 施策方針

まちづくりの方針ごとの「施策方針」及び「施策イメージ」は以下のとおりです。

### 1 地区ぐるみで子どもを育む 子育て

#### 1-1 坂小学校の教育環境の充実

- ・小規模特認校に指定されている坂小学校において、外国語活動や農事活動など特色ある学習をすることができる教育環境を、地区との連携の中で整えます。
- ・体験入学やお試し居住を通して、在校生や地区住民との交流と入学の促進を図ります。
- ・家族で滞在しながら坂地区での暮らしと子育てを体験できる仕組みをつくることで、坂小学校への入学希望者や移住者の増加に繋がります。

〈施策イメージ〉

- 少人数を活かした教育プログラムの実施
- 体験入学、お試し居住の実施

#### 1-2 坂地区と坂小学校の連携強化

- ・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）をはじめ、PTA や自治会等が相互に連携協力することで、地区ぐるみで子どもたちを見守り育てるとともに、学校ボランティア（農業指導、郷土学習、スクールガード、読書活動等）等を通じた多世代交流を促進します。

〈施策イメージ〉

- 在校生と地区住民の交流イベントの開催
- 学校運営協議会の充実
- 学校ボランティア等高齢者との交流の場の創出
- 地区行事への保護者及び児童の参加促進

#### 1-3 坂小学校の情報発信

- ・少人数ならではのきめ細かな教育や恵まれた自然環境など、坂小学校の魅力を全国に積極的に発信します。

〈施策イメージ〉

- 小規模特認校制度の周知
- プロモーションに取り組む組織づくり

## 2 新しい働き方、住まい方をはじめ 移住定住

### 2-1 交流人口の拡大と移住定住の促進

- ・移住希望者への相談や地区の情報提供を行う移住コーディネーターを育成します。また、住民自らが、仕事もプライベートも充実した“ほどよい田舎暮らし”を営むロールモデルになることで、坂地区の魅力を発信します。
- ・首都圏、市街地及び伊豆半島へのアクセスの良さや、光ファイバーによるネット環境など坂地区の持つポテンシャルを活かした、テレワークや二地域居住といった新しい働き方、住まい方を提案します。
- ・新規就農希望者に対し、住宅と農用地のマッチングを行います。
- ・箱根西麓三島野菜をはじめとする農産物の生産拠点であることの情報発信を強化し、市民の理解度を高めるとともに、農業を通じた地区住民との交流を促進します。

#### 〈施策イメージ〉

- 移住コーディネーターの育成
- 先輩移住者の体験談など、移住や坂地区の魅力的な暮らしに関する情報発信
- 新規就農相談と移住の促進
- 農産物の生産拠点であることの情報発信を強化

### 2-2 空き家・空き地の活用

- ・「三島市中古住宅情報サイト」による空き家情報の一元化と有効活用を図るとともに、空き家情報の収集やマッチング等空き家に関する様々な事業を進める市民団体等の育成を図ります。また、将来的な空き家の発生を抑制するために、地区住民への市の空き家サポート関連事業の周知を図ります。
- ・地区内の空き家を活用した宿泊施設（お試し住宅）や滞在型ワーケーション施設等として活用することにより、空き家の解消を図るとともに、交流人口の拡大や移住定住の促進に繋げていきます。
- ・アトリエやアーティスト・イン・レジデンスの開催など、アートの拠点として空き家を活用する方策を検討します。
- ・モバイルサウナイベントなど、民間空地等を活用した野外イベントの実施を促進します。

#### 〈施策イメージ〉

- 空き家バンクの充実とマッチングシステムの構築
- 空き家を活用したお試し居住、ワーケーションの推進
- 空き家を活用したアートの拠点（アトリエ）づくり
- 富士山眺望点でのモバイルサウナイベントの実施

### 2-3 三ツ谷工業団地従業員の移住促進

- ・行事などを通じて三ツ谷工業団地に入居する企業と地区の連携を深めるとともに、従業員の地区内居住の促進など、職住近接のまちづくりに取り組みます。
- ・三ツ谷新田、市山新田における優良田園住宅の建設を促進します。

#### 〈施策イメージ〉

- 工業団地入居企業の祭りへの参加など、地区との連携強化
- 従業員への物件紹介など、地区内居住の促進
- 優良田園住宅の建設促進

## 3 箱根西麓の恵みを楽しむ 産業

### 3-1 特色ある農業の振興

- ・箱根西麓三島野菜のブランド強化をはじめとする農業の振興を図るとともに、農地の保全と再利用のために、農林業の新たな担い手を育成します。
- ・箱根西麓三島野菜の魅力を活かした料理やスイーツなどのグルメの開発を行い、坂地区の観光振興に繋がります。

〈施策イメージ〉

- 箱根西麓三島野菜のブランド強化と情報発信
- 大学との連携による箱根西麓三島野菜グルメの開発
- 新規就農相談と移住の促進（再掲）

### 3-2 山林の保全と活用

- ・林業の担い手を積極的に育成するとともに、ハイキングコースやマウンテンバイクコースの整備などを進め、森林資源の活用と山林の荒廃防止を図ります。

〈施策イメージ〉

- 林業の担い手育成
- 林業の人材育成による山林の荒廃防止対策の実施
- 箱根の里周辺のマウンテンバイクコースやハイキングコースの整備

### 3-3 産業振興と拠点の形成

- ・市の特産品を活かした産業振興を図るとともに、産業・交流拠点の機能強化とネットワーク化に取り組みます。

〈施策イメージ〉

- 三島市の特産品を活かした産業振興
- 産業・交流拠点の機能強化とネットワーク化



## 4 地域の魅力や資源を活かす 観光

### 4-1 食と農を活かした観光振興

- ・産官学連携による企画ツアーなど、箱根西麓三島野菜の収穫やグルメを楽しむガストロノミーツーリズムを推進するとともに、箱根西麓三島野菜の加工品開発や、農家レストラン・ホテルの誘致など、“食”と“農”の連携強化を図り、農業の6次産業化を図ります。
- ・箱根西麓三島野菜などの収穫体験ツアーによる関係人口の創出を促進します。

〈施策イメージ〉

- 箱根西麓三島野菜のブランド強化と情報発信（再掲）
- 産官学連携によるガストロノミーツーリズムの推進
- 農家レストラン、ホテルの誘致
- 農業体験を軸とした関係人口の創出

### 4-2 サイクリングの拠点づくり

- ・箱根の里周辺の豊かな自然と斜面地を活かしたアクティビティとして、マウンテンバイクコースを整備するとともに、箱根の里内の施設を活用し、レンタル窓口やメンテナンススペースの設置、宿泊の提供など、箱根西麓サイクリングの拠点として活用します。
- ・三島スカイウォーク等地区内の拠点にバイシクルピットを配置するなど、サイクリングのハブ拠点として充実を図ります。

〈施策イメージ〉

- 箱根の里へのビジターセンターの設置
- 箱根の里周辺のマウンテンバイクコースの整備（再掲）
- バイシクルピットの充実（三島スカイウォーク）

### 4-3 街道の歴史や文化を活かした観光振興

- ・日本遺産・箱根八里や山中城跡など歴史資源を周遊するウォーキングツーリズムやサイクルツーリズムを推進するとともに、これらの情報を国内や国外に向けて積極的に発信することにより、街道の歴史や文化を活かした観光振興に繋がります。

〈施策イメージ〉

- 箱根西坂富士美コース（全日本ノルディック・ウォーク連盟公認）の周知
- 日本遺産「箱根八里」のブランド化と広域連携による街道観光の開発
- インバウンドに向けた山中城跡の魅力発信とビジターセンターの機能整備検討

#### 4-4 既存施設の再整備と有効活用

- ・社会教育施設である三島市立箱根の里の使用条件の緩和や申請の簡素化を図り、多様な人が気軽に使用できる場所として再整備を行います。また、坂幼稚園を多様な使い方ができる拠点として整備します。

〈施策イメージ〉

- 箱根の里の使用目的の緩和とリニューアル
- 坂幼稚園を活用した交流拠点の整備

## 5 安全で快適な生活ができる 生活

### 5-1 適切な移動手段の維持・確保

- ・自家用車以外に選択可能な移動手段の維持・確保を検討するとともに、先端技術を活かした新たなモビリティによる移動手段等、地域公共交通のあり方について研究します。

〈施策イメージ〉

○バス路線の維持と観光客との住み分け

### 5-2 安全・安心のまちづくり

- ・土砂崩れや水害など災害に強いまちづくりを進める、地区と行政が一体となった防災体制を確立するとともに、通学路の安全確保等、子どもや高齢者の交通安全対策を進めることにより、安全・安心できる地区づくりを進めます。

〈施策イメージ〉

○防災体制の確立  
○旧国道1号をはじめとする通学路の安全確保

### 5-3 地区振興の拠点づくり

- ・地区振興の活動拠点として、坂公民館にまちづくりセンター機能（地区住民による主体的なまちづくりの支援、行政窓口の紹介及び連絡調整等）の導入を検討します。

〈施策イメージ〉

○坂公民館へのまちづくりセンター機能の導入

### 5-4 生活利便性の向上

- ・生活の利便性の向上を図るため、スマートシティの実現を目指します。
- ・坂公民館の柔軟な利用を可能にします。

〈施策イメージ〉

○電子市役所や交通 MaaS、オンライン診療など、スマートシティの実現による生活利便性の向上

## 5 重点プロジェクト

まちづくりの方向性を踏まえ、本地区のまちづくりにおいて特に重要な施策、あるいは早急に取り組むべき施策を「重点プロジェクト」として掲げます。

**重点プロジェクト① まちづくりの拠点づくりプロジェクト**

**重点プロジェクト② 箱根西麓ライドベースづくりプロジェクト**

**重点プロジェクト③ 移住定住促進プロジェクト**

これらの重点プロジェクトは、施策体系で示した施策のうち、関連するものを横断的にとりまとめ実践していくことを想定して整理したものです。

3つの重点プロジェクトと、施策体系の関係は次のとおりです。

### ■重点プロジェクトと施策体系の関係

	施策体系				
	1 地区ぐるみで子どもを 育む〈子育て〉	2 新しい働き方、住まい方 はじめる〈移住定住〉	3 箱根西麓の恵みを 享受する〈産業〉	4 地域の魅力や資源を 活かす〈観光〉	5 安全で快適な 生活ができる〈生活〉
<b>重点プロジェクト①</b> まちづくりの拠点づくりプロジェクト	●	●		●	●
<b>重点プロジェクト②</b> 箱根西麓ライドベースづくりプロジェクト			●	●	
<b>重点プロジェクト③</b> 移住定住促進プロジェクト	●	●			●

## 重点プロジェクト①

# まちづくりの拠点づくりプロジェクト

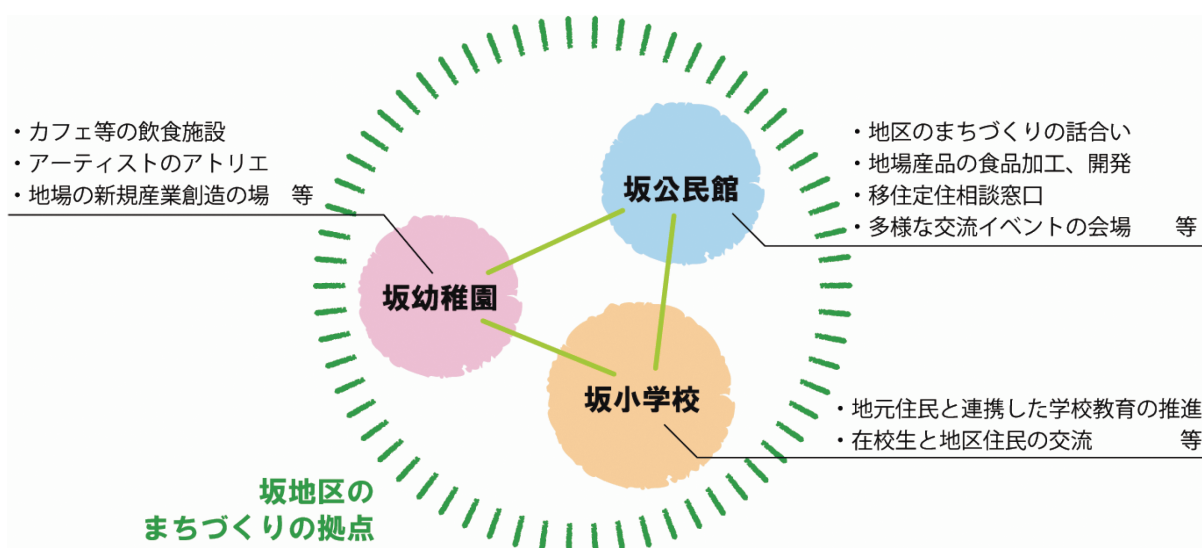
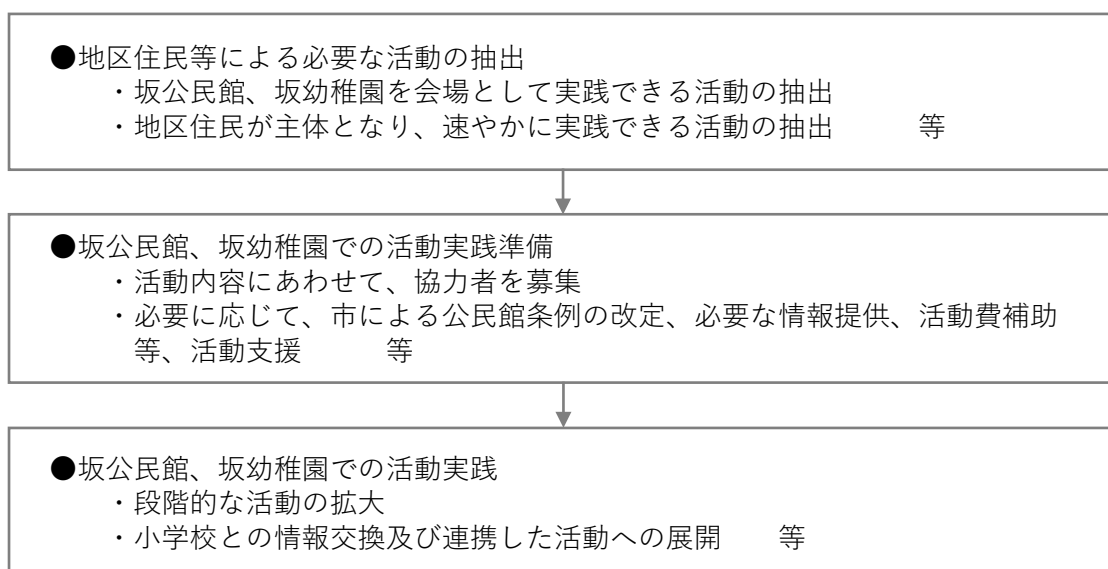
### ◆目的

坂公民館、坂幼稚園について、地区住民等の意向を踏まえた多様な活用を図ることにより、地区住民等が主体となったまちづくり活動の積極的な推進と地区活動と連携した坂小学校の運営に繋げていきます。また、これらの取り組みによって、坂小学校周辺一帯を地区のまちづくり拠点として位置づけ、多様な交流を生み出し、良好なコミュニティの維持強化に繋げていくことを目的とします。

### ◆対象地

坂小学校、坂公民館、坂幼稚園を含むエリア

### ◆進め方のイメージ



まちづくり拠点のイメージ

## 重点プロジェクト②

# 箱根西麓ライドベースづくりプロジェクト

### ◆目的

箱根の里を中心としてサイクリングコースやマウンテンバイクコースの整備、設定を行い、箱根の里内にある少年自然の家をコース利用者の飲食施設や宿泊施設、あるいは多目的な活用を促進することにより、箱根の里周辺エリアを中心とした交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化に繋げていくことを目的とします。

### ◆対象地

箱根の里周辺を中心とした坂地区内

### ◆実現のための主な施策イメージ

#### ①マウンテンバイクコースづくり

- ・専門家のアドバイスを得ながら、地区住民、市、観光協会等が協力して、箱根の里少年自然の家を中心として、山中へのマウンテンバイクコースを整備、あるいは地区内においてもサイクリングコースを設定します。

#### ②箱根の里・少年自然の家の活用

- ・箱根の里及び少年自然の家をマウンテンバイクコースの起点・終点として位置づけ、マウンテンバイクのレンタル窓口やメンテナンススペース等を設置するとともに、あるいはマウンテンバイクコース利用者の休憩、飲食、宿泊施設として活用します。
- ・マウンテンバイクコース利用者以外でも、森林セラピーや間伐体験、野外コンサート、クラフト等の制作・販売など、多様な利用ができるよう、少年自然の家の使用条件を見直します。

#### ③コースの維持管理・活用

- ・マウンテンバイクコースでの大会の開催、サイクリングコースを活用したガイドツアーの大会、あるいはマウンテンバイクコースを活かしたノルディックウォークイベントの開催等、コースを活かしたイベントを市・観光協会・地区住民が連携・協力して開催します。
- ・マウンテンバイクコースの倒木や落ち葉の除去等の維持管理についても、市・観光協会・地区住民が連携・協力して進めていきます。

### 【事例：三重県多気町「自転車のまちプロジェクト」】

- ・三重県多気町は「自転車のまちプロジェクト」として、自転車を通じたまちづくりを行っている。地区内の森林を活かして「勢和の森マウンテンパーク（SFM）」というコースを整備し、1回/年、町民が主体となり公式レースを開催している。
- ・そのほか、子ども向けマウンテンバイクの学校や小中高生向けに自転車の乗りかたを教える独自の自転車交通安全教習を実施している。



多気町 HP [https://www.town.taki.mie.jp/life/soshiki/kikakuchosei/kanko\\_event/3/4068.html](https://www.town.taki.mie.jp/life/soshiki/kikakuchosei/kanko_event/3/4068.html)

## 重点プロジェクト③

# 移住定住促進プロジェクト

### ◆目的

坂地区への移住定住を促進するために、地区の豊かな自然環境、美味しい農作物、旧東海道が通っていた歴史文化、あるいは良好なコミュニティ、さらにこの地区の中で魅力的な教育を進める坂小学校等、坂地区の魅力を総合的かつ戦略的に発信していくとともに、移住定住者の受け皿となる、空き家情報等の集約、移住希望者等とのマッチングを進めていきます。

これらの取り組みを、地区住民、小学校 PTA、地区外民有志、民間事業者、行政等が連携して取り組んでいきます。

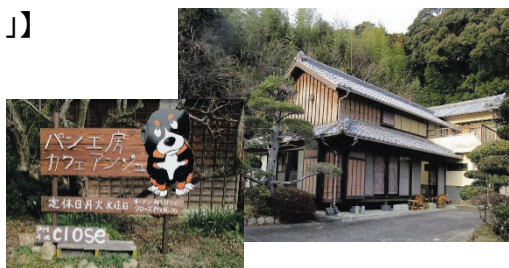
### ◆実現のための主な施策イメージ

#### ①空き家情報の集約とマッチング

- ・地区内の空き家情報を収集し、空き家利用希望者とのマッチングを進めるための地区住民及び建築士、宅地建物取引士、税理士等の専門家で構成する組織を構築します。
- ・空き家情報については、地区住民の協力により情報収集に努めるとともに、データベース化し、空き家利用希望者に情報提供していきます。
- ・空き家情報の発信、空き家利用希望者の募集を、HP や SNS 等を通じて進めていきます。

#### 【事例：静岡県掛川市「NPO かけがわランド・バンク」】

- ・静岡県掛川市で活動する NPO かけがわランド・バンクは、主に掛川市内の空き家問題を解決するために活動する組織であり、建築士、宅建業者、建設業者、司法書士、土地家屋調査士、金融機関などで構成されています。
- ・空き家情報の収集及び利用希望者への情報提供をはじめ、空き家利用希望者の相談受付、特定空き家の解体、空き家のリノベーションと貸し出し、リノベーションテクニックのレクチャー等、空き家に係る多様な活動を展開しています。



掛川ランド・バンクが手掛けた古民家をリノベーションしたパン工房カフェアンジェ（現在は移転）

#### ②地区の魅力の情報発信

- ・地区外民、坂小学校への入学検討者等の移住定住意欲を高めるために、地域の暮らし、自然環境、歴史文化、子どもの生活等、地区の様々な魅力的な情報、あるいは空き家情報を、SNS 等を通じて発信します。
- ・情報発信にあたっては、地区住民や地区外の方々等で構成する体制を整え、積極的に情報収集と情報発信を進めていきます。

#### ③坂地区ならではのライフスタイルの提案

- ・移住定住を促進するにあたり、地区住民が移住者を受け入れ、新たなコミュニティを構築していく必要性について、周知を図ります。
- ・坂地区の魅力の発信等を通じて、坂地区での暮らしを再確認し、今後の新たな暮らしや子育てのあり方等、新しいライフスタイルを模索し、地区住民や坂小学校等に提案していく取組を進めます。